# 愛知東邦大学 シラバス

| 開講年度(Year) | 2023年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
|---|---|---|---|
| 授業科目名(Course name) | 世界の芸術 | | |
| 担当者(Instructors) | 長谷川 潤子 | 配当年次(Dividend year) | 2 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

芸術の中でも美術の分野をテーマとする。 実際に手を動かして、足を運んで、目で見て芸術を考える。 具体的には、A：写真で表現⇒素描ー作品制作、B：美術の歴史ーグループワーク研究、C：美術の鑑賞ー美術鑑賞レポートの3テーマで構成する。 最初は 一番身近な写真の手法から、効果的な表現方法を考えてそれぞれが絵画作品に展開する。次に美術の歴史をグループで考察してクラスでまとめて共有する。最後は美術鑑賞のポイントとマナーをおさえて、自分で実際に鑑賞しレポートにまとめる。 ３つのテーマから興味を持った方法を選んで作品かレポートを完成させる。 芸術を「知る』『感じる』『つくり、発信する』深く関わるきっかけすることを目的にする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

| 授業形態(Class form) | 講義 |
|---|---|
| 授業の方法(Class method) | ・各回（または単元）ごとに、４つの構成<br>1：解説、講義 説明<br>テーマ作品の鑑賞 製作の時代背景や、技術、構成を講義する。<br>2：提案または製作<br>絵画表現の体験 をする。鉛筆で描く作品制作のための練習ドリルまたは、<br>プリント等使い同じテーマでの表現方法の提案。<br>3：まとめと次回の授業内容の準備<br>（1）調べてまとめる（2）提出課題と感想提出で、考え方や各自表現の方法　工夫をクラス全体で共有。 |

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---|---|---|---|
| 第1回 | 授業の説明<br>自己紹介 | 15回の授業の内容を説明と授業の進め方についての説明<br>自己紹介の写真作品をつくる。 | □ |
| 第2回 | 写真で表現ー作品制作（1） | 1.自己紹介写真の発表。<br>2.『今の自分を表現する』または『my favorite』をテーマに撮影する | □ |
| 第3回 | 写真で表現ー作品制作（2） | １.学生の作品発表。<br>2.数人の学生作品を取り上げて参考になる絵画やデザイン、写真作品やを紹介。ブラッシュアップの方法を考えて再度撮影、投稿 | □ |
| 第4回 | 写真で表現ー作品制作（3） | 1.学生作品の発表と講評会<br>2.素描作品に発展させる | □ |
| 第5回 | 美術の歴史（1） | NHKびじゅチューンの動画を使用。興味のあるテーマを選び鑑賞、感想と作者などについて調べ考察をまとめてレポートを作成する | □ |
| 第6回 | 美術の歴史（2）ーグループワーク研究 | レポートを持ち寄りグループをつくりミニプレゼン<br>テーマを決めてグループで分担し課題を持ち帰り進める | □ |
| 第7回 | 美術の歴史（3）ーグループワーク研究 | グループで資料をまとめる。<br>（データまたは掲示資料にする） | □ |
| 第8回 | 美術の鑑賞(1)ー美術鑑賞レポートそれぞれの美術鑑賞のために | 美術館を楽しむための手引き。また美術館の役割と鑑賞のルールも説明する。 | □ |
| 第9回 | 美術の鑑賞（２）<br>〈日程変更の場合があり〉 | 個人で美術館で展覧会を鑑賞する | □ |
| 第10回 | 美術の鑑賞（３）ー美術鑑賞レポート<br>レポート作成 | ●レポートを作成（PC室）<br>●素描作品完成　　2点を提出 | □ |
| 第11回 | 美術研究のために<br>研究テーマを決める<br>自主課題制作（１） | ●自主課題攻略のための説明。印象派と浮世絵や写真との関連をレポートにするときの視点から解説。<br>作品とレポート、鑑賞のサンプルを解説<br>●興味を持った研究テーマを選択。資料準備 | □ |
| 第12回 | 自主課題制作（２） | 選んだテーマを進める。<br>個別にアドバイスタイムをつくる | □ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **第13回** | 自主課題制作（３） | 選んだテーマについて個別指導　ブラッシュアップ | □ |
| **第14回** | 自主課題制作（４）　プレゼンテーション | 選択した課題の提出と発表<br>授業で作ったものすべて共有（データ） | □ |
| **第15回** | 講評採点 | 展示、講評と交流<br>学生同士で作品やレポートについて交流評価 | □ |

**■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)**

1、各回最後に次の課題を説明。資料を準備して、自分の考えをまとめておく。 その内容を授業の教材とするため指定日までにLMSにあげる。
2、授業内で完成できなかったワークシートの仕上げ またはブラッシュアップ。（30分から4時間）　・課題レポートは授業内でも作成時間を設けるが、資料やメモの準備は必須。　・3回目の授業時にすべての資料を配布する予定なので各自進める。 画材等の準備（初回説明）

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

授業準備した内容（写真など）は、できるだけ話し合いの材料として全体で共有する。レポートは添削、採点、一部データで公開。 作品は学内にて展示を予定。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|---|---|---|
| **知識・技能** | ◆ 2019全学共通DP1 | 作品を実際に製作する事で今まで理解しがたかった芸術作品や 作者に対して接点を見つけだして、自分の言葉で意見が言うことができるか。 |

**■成績評価(Evaluation method)**

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験（in-class exam) | その他(Other) |
|---|---|---|---|---|
| | | | 100% | |

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

（1）写真と素描作品２０%、（2）美術の歴史　グループ20%（3）美術館レポート２０%（4）選択研究作品４０%　【4点指定日まで提出必須】

**■テキスト(Textbooks)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | なし（資料と練習ドリル配布） | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

**■参考図書(references books)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |